

# On your side

<https://toyono-jinikyo.com/>

## 1

令和 3 年度（2021 年度）  
10 年経験者研修 開講にあたって  
（中堅教諭等資質向上研修）

今年度豊能地区では、小学校教諭 72 名、中学校教諭 43 名、養護教諭 5 名、合わせて 120 名の先生方が 10 年経験者研修を受講されます。

近年教員の年齢構成の不均衡、学校教育における諸課題等、学校を取り巻く環境の変化に対して、法定研修の在り方の見直しが求められています。そのような状況の中、豊能地区では、「子どもとともに学び続ける教職員」をめざす教職員像とし、法定研修を実施しています。

第 1 回は、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症への対応として、Web 開催（オンデマンド型）となりました。兵庫教育大学大学院特任教授の浅野良一先生に「学校組織マネジメント」をテーマに、演習を交えてご講義いただきました。教員 10 年目がどのような時期であるか、キャリアステージについてお話いただき、SWOT 分析では、自校を多面的に捉え直し、「あるもの活かし」の見方で強みを考えていく演習を通じて、学校組織を構築していく上で大切な要素と自身の役割を重ねながら学びました。



豊能地区の法定研修【共通研修】では、研修から学んだことや考えたことをどのように自校の取組みにつなげていくかグループで話し合う等、互いに交流することを大切にしています。参集による実施で直接意見を交わすことができませんでしたが、この研修通信“On your side”を通じて研修を振り返り、学びを深め、広げるきっかけにさせていただけたらと思います。

### ～ 振り返りシートより ～

「中期キャリア」としてこれまでの教員としての経験をもとに、自分の得意やもちあじを磨くことの重要性を知りました。これまでは自分の成長のために教員としての日々を過ごしてきましたが、これからは周りの教員の成長を助け、学校全体の良さを見つけよりよい教育の場を作っていくための働きかけができるようにしていきたいと感じています。

学校をよりよくしていく視点として紹介していただいた SWOT 分析では、前向きに今の学校のことを考えることができました。この 4 月に転勤したこともあって、どうしても前任校と比較してしまう今の自分でしたが、そうではなく今の職場の強みは何か、外部とのつながりの中で支援的に働く側面は何かを考えることが大切だと実感することができました。前任校での経験と今の職場の強みと合わせ、これからの学校づくりの一助としていきたいです。

自分のクラスや学年、目の前の子どもたちとの授業や日々の課題に向き合っただけで、自分だけではなく、学校としてのキャリアやビジョン、学校組織の中で自分がどういう立場でどういうふうに関与していくことができるかをあまりじっくり考えた経験が少なかったため、とても新鮮な内容でした。

学校は組織として意見が出やすく、すぐに行動に移しやすいということでした。そのため我々のような立場の教職員が小集団でのリーダーシップを取りつつ、学校運営に関わることで組織の活性化につながるということでした。また、若手教員とのコミュニケーションを取りながらの助言も組織を活性化させるということだったので積極的に取り組んでいきたいと思っています。

学校特有の組織構造の観点から、ミドルリーダーと呼ばれる世代に求められるものがとてもわかりやすかったです。特に、石垣型の職務配分、三遊間のゴロに飛びつくといったところから、自分の学級のことだけではなく、学年や学年間そして学校全体の中で広くアンテナを立て自らの役割を自覚し、取り組む必要性を理解することができました。また、その際には自分の思いだけではなく、学校のめざすところを若い先生方に翻訳するという意識が求められていることが理解できました。

自分自身の「一芸」もそうですが、学校としての「一芸」を見つけ、伸ばすことも必要だと感じました。学校としての「一芸」とは、その学校の「強み」であり「特色」です。講義の中でもお話がありましたが、普段自分の学校について考えると、どうしてもマイナスの点を多く思い浮かべてしまいます。しかし、学校のビジョンを考え、めざす子ども像・学校像に近づくためには、マイナス面ばかりではなく、プラスの捉え方をすべきだと学びました。子どもたちに日々接しているように、学校に対してもいいところ見つけをしていくべきだと気づくことができました。

今回の研修を通して、今の自分が何を考えるべきか、何をすべきかが具体的に見えたように思います。まずは、自分のキャリアデザインを描くこと。自分の仕事観をもつこと。専門性、一芸を磨いていくことなど、日々の忙しさの中でも自分と向き合う重要性を改めて感じました。また、学校の組織づくりの一員を担う役割として、自分が何をできるのか、この研修中での学校の内外環境のSWOT分析を実際にやってみましたが、今の学校に強みがたくさんあることに改めて気がつきました。また弱みであると感じていたことが裏を返せば強みであることも感じました。

ビジョンをもって働くために、めざす子ども像やめざす学校像を意識していく必要があることがわかりました。イオンのビジョン構成を、学校に置き換えて考えてみると、とてもわかりやすく、子どものために私たちが力を入れてすべきことは何かを改めて考えることができました。言うのは簡単だが、やるのは難しいので、具体的なビジョンをもつことが大切だと思いました。SWOT分析をしてみると、強みと弱みは表裏一体だということがよくわかりました。本校は小中一貫校であり、これは強みでもあり弱みでもあるので、「あるもの活かし」の気持ちを持って取り組みたいです。

ご自身のこれまでの経験や、今の学校での取り組み、これからのキャリアなど、現状と照らし合わせながら受講されたようすが伝わってきました。ミドルリーダーとしての役割について、「自分にできること」を年間を通して考えていきましょう。



10年経験者研修について、年間の見通しや提出書類についての説明をおこないました。**校外研修**としての実施は、豊能地区の3市2町で合同実施をする【共通研修】(全5回)と、所属市町実施研修+選択研修(全6回)です。また、所属校における**校内研修**でも、講義やコーチング、管理職の先生などからの指導・助言を受けながら、それぞれの研修の機会が先生方のこれからのキャリアに役立つものであってほしいと願っています。今後も研修の手引や豊能地区人事協議会のWebページを活用しながら、年間の受講を計画的に進めていきましょう。

今回、指標にじっくり目を通し、自分の働き方、教師としての資質を見つめ直し、めざすべき姿がはっきりしたおかげで、今後の働き方、進路について考え直すよい機会を与えてもらえました。この一年、自分の強みを磨きながら、今後の進路や自分の足りない部分を補えるような研修を選択研修で受講していきたいと思います。

「教員の資質の向上に関する指標(豊能地区)」をもとに「研修のねらい」を毎回設定しています。(研修の手引P.22~24参照)みなさんのキャリアのめやすとして、今後キャリアを積み上げていく中で、これからの自分の課題は何かを明らかにするためにも「指標」を意識するようにしましょう。

**Webアップ  
しています**

各市町実施の「相互交流研修」を豊能地区教職員人事協議会のホームページに掲載しています。実施日時・実施方法・場所等を確認してください。  
※申し込みは、各市町教育委員会(教育センター)の案内に従ってください。